

特別支援学校 学校評価一覧表 ①（令和２年度版）

（様式１）

羅 針 盤			※各学校 で設定	方 策	第１回 点検・評価			第２回点検・評価		
評 価 対 象	評 価 項 目	具体的数値項目			自己評価	外部アンケート	改 善 策	自己評価	外部アンケート	改 善 策
Ⅰ 幼児児童生徒の地域における豊かな生活の実現に向けて努めていますか。	1 保護者、地域、関係機関に学校の教育活動について、具体的に伝えていきますか。	①ホームページやメール配信が迅速かつ適切であり情報収集がしやすいと、９０％以上の方が感じている。	教務部	○今年度より「学校だより」の定期的な発行 ○ホームページの管理、運営と関わる校内連絡体制の確立 ○メール配信の管理 ○メールやホームページを確認できない保護者などについての適切なフォロー						
	2 保護者、地域、関係機関との共通理解が深まり、有効な支援が行われていますか。	②学校の活動紹介を地域に年５回以上配布している。	支援推進部	○学校行事など生徒の活動を紹介し、地域の理解を深め連携を図る。						
Ⅱ 地域の特別支援に関するセンター的な役割を果たしていますか。	3 障害のある幼児児童生徒の教育について、助言援助に努めていますか。	③センター的機能の役割を果たしていると感じている高校等の関係者が、８０％以上である。	支援推進部	○関係機関への訪問相談の時などに、アンケート等を実施し、今後必要なニーズを把握する。						
Ⅲ 幼児児童生徒一人一人の実態に適切な指導をしていますか。	4 個に応じたきめ細かな指導を行っていますか。	④「個別の指導計画」の自立活動・教科の目標が、個々の特性や課題に即していると感じている保護者が ８０％以上である。	各学年	○学校生活や実習先での様子を、面談時に保護者へ丁寧に説明し、適切な目標を設定・評価に反映させる。						
		⑤ＴＴ間で生徒一人ひとりの学習状況を、授業ごとに確認、評価している。	学習指導係	○授業後や放課後にＴＴ同士で、生徒の学習到達度や支援方法についての話し合いの機会を設ける。						
	5 指導内容の確実な定着を図る授業が行われていますか。	⑥職員各自が参考としたい指導・支援について２～３回の授業参観を行う。	研修係	○参観後、授業参観報告書を提出、自由閲覧できるようにまとめ職員間で情報共有を行う。						
		⑦学習活動を通じて、コミュニケーション力が上がったと感じられる保護者が８０％以上である。	学習指導係	○授業内での報告や連絡、相談等の指導 ○学年活動における発表会、報告会						
Ⅳ 健康や安全の確保に努めていますか。	6 健康に関する配慮や対応を適切に行っていますか。	⑧生徒の発達段階や課題を考慮した性に関する指導について、８０％以上の保護者から理解協力を得ている。	保健部	○学期ごとの小集団性指導 ○ヤングメモリーの記録 ○外部講師による講演会の実施 ○保健だより						
	7 危機管理体制が確立され、緊急時への備えができていますか。	⑨年３回の避難訓練で実際の場面に即した避難態勢がとれていると、関係機関の方の８０％以上の評価を得ることができる。	安全管理係	○避難訓練時の事前指導で、現実に即した学習を行うとともに訓練終了後に、関係機関の方々に評価してもらい指導・助言を得る機会をもつ。						
	8 年間を通じて、計画的な生活・安全指導を行っていますか。	⑩生徒自ら身だしなみに気をつけられるようになったと感じられる保護者が８０％以上である。	生徒指導部	○自己点検（項目）表を使い、週１回、クラス内でチェックを実施						
		⑪学校で取り組んでいる「いじめ防止活動」が、実際のいじめ防止に繋がっていると感じられる保護者が８０％以上である。	生徒指導部	○生徒指導通信による情報発信 ○アンケートの実施 ○「人間関係づくり」を中心とする生徒主体の活動推進 ○生徒指導通信による情報発信						
	9 生徒の安全確保の観点から施設・設備を管理していますか。	⑫授業が安全に実施できるよう、照度を確保する。	事務部	○定期的に校内を巡回・確認し交換等の対応を行う。						
Ⅴ 将来の生き方に結びつく進路指導を行っていますか。	10 キャリア教育の視点から、指導内容を整理して系統的な指導を行っていますか。	⑬「社会人・職業人として必要な力」について、段階的に理解が深められ実践力も高まっていると感じる保護者が８０％以上である。	各学年	○校内・校外実習の充実 ○校外学習活動の充実 ○授業や学校行事での実践						
	11 保護者、関係機関との連携のもとに発達段階に応じた進路指導を行っていますか。	⑭「福祉サービス事業所のサービスの内容」「障害者雇用（一般就労）の基礎知識」が学校からの情報提供でわかりやすく伝わっていると感じる保護者が８０％以上である。 ⑮計画的な職業教育、就業体験実習、進路相談により、生徒それぞれに合った卒業後の進路の実現が可能だと感じている生徒・保護者が８０％以上である。	進路指導部 進路指導部	○地域生活支援ネットワーク相談会 ○進路情報誌、各地域の福祉サービスの利用の案内等の配布 ○進路だより、学年集会、保護者会での最新情報の提供 ○校内実習、就業体験実習 ○外部講師による「進路ガイダンス」「職業教育充実研修」 ○事業所、福祉施設見学会 ○企業採用担当者学校見学会 ○３者面談 ○移行支援連絡会議						

